

大阪府新庁舎計画の模型

写真中央の高層棟が行政棟、左下が警察棟
右側のピラミッド型の建物が議会棟

こうした都市づくりを進める中であって、大阪府は、今後ますます進展する国際化、技術革新、情報化、高齢化、価値観の多様化などの社会の大きな潮流に適切に対応し、二十一世紀を展望した新たな先導的府政を展開していく必要があります、その果たすべき役割は、より一層大きくなってまいります。

大阪府が、各般の施策を積極的に推進して、府民の期待に応えていくためには、老朽、狭隘、分散化している現庁舎の問題点を解消し、府政推進の中枢的拠点となる新庁舎の整備を図ることが急務となっています。

このため、かねてから多面的な検討を進めてきましたが、平成元年四月に、「提案競技」を行い、最優秀作品を決定しました。

1 大阪府新庁舎計画

大阪府は、関西国際空港の建設を契機に、「世界都市」にふさわしい都市づくりをいま進めています。これは、東京への一極集中を是正し、多極分散型国土を形成し、特色ある都市機能の集積を図って、大阪が双眼型国土構造を担う中核となることが強く期待されているからです。

大阪府新庁舎計画と レコードマネジメント

鳥居 龍雄

大阪 あーかいぶず

平成二年三月
第六号
大阪府公文書館発行

目次

大阪府新庁舎計画とレコードマネジメント	1
住吉名勝園会にみる万代池	5
昭和初期大阪における貿易振興展覧会	6
研修会の報告	9
文書館あれこれ(2)	10
府下講座案内(2)	10

これを受けて、大阪府は、平成元年十月に「大阪府庁舎・周辺整備基本計画」を策定しました。

同計画では、下図のように、高層棟の行政棟（四五階・延床面積一三万二四〇〇㎡）を中心に、議会棟（三階・二万三五〇〇㎡）、警察棟（九階・一〇万二二〇〇㎡）、新別館（九階・二万九二〇〇㎡）の建築群がバランスよく配置され、大阪城天守閣や公園の景観とマッチするよう、行政棟はシンボリックに高層化し、他はできるだけ低層におさえるという配慮がなされています。

なお、建設年次計画によれば、平成三年より新別館の着工に入り、順次建築に着手する予定となっています。

2 新庁舎におけるレコードマネジメント

新庁舎は、行政サービスの向上が図れるよう、高度情報化社会にふさわしい効率的な事務処理システムや、OA化の進展にフレキシブルに対応できる先進的な庁舎機能を備えたインテリジェントビルとすることが計画されています。ところで、大阪府の文書の年間発生量は、昭和六十二年の文書管理実態調査によると、約二八八万件、簿冊にして二〇万冊相当となっており、今後行政事務の複雑・多様化、OA機器の普及などにより、文書の発生量や保存量が一段と増加することが予想

されます。そうになると、インテリジェントビルの利点を活かした、より安全で、迅速かつ効率的なレコードマネジメントの手法が導入される必要があります。

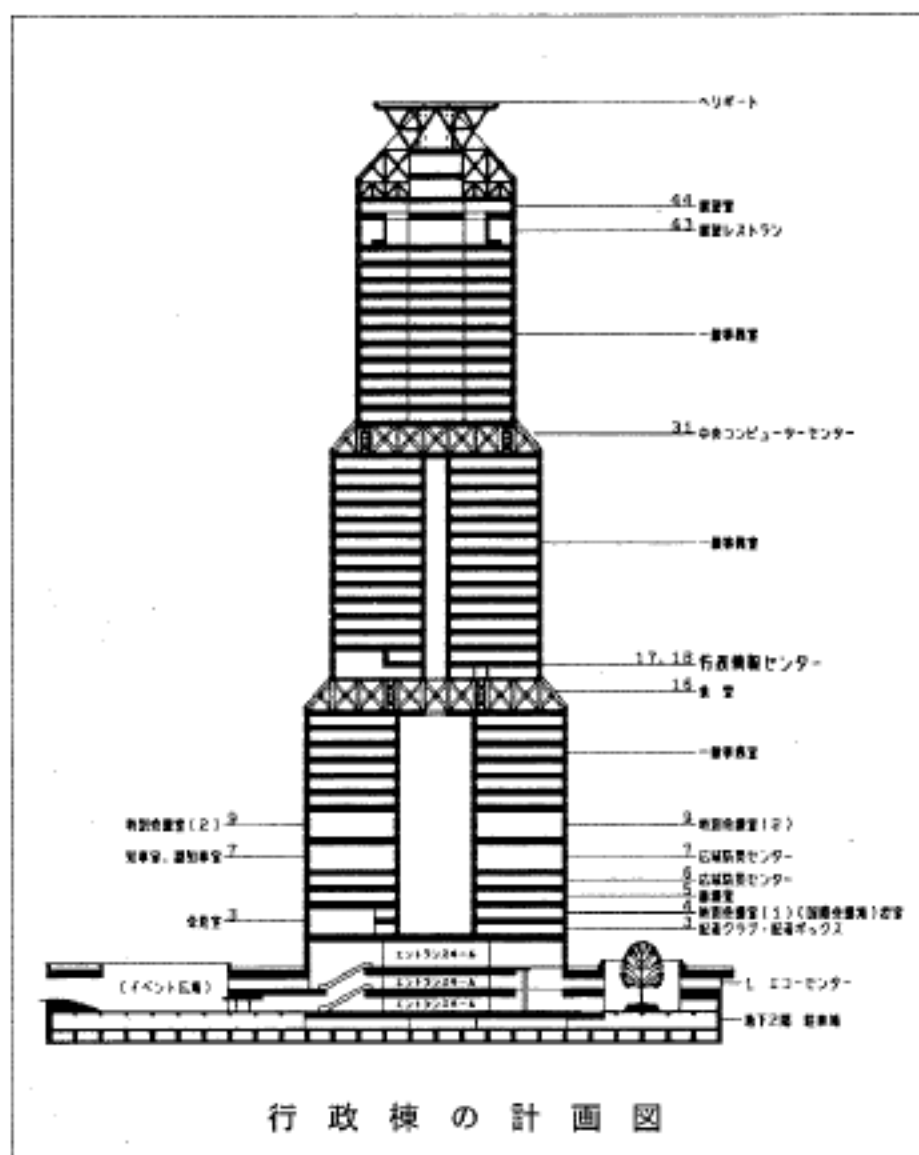
そこで、文書管理面から、新庁舎にいろいろと反映させるため、文書流通（搬送）システム、共通資料センター等について現在基本調査を行っております。

文書流通（搬送）システムとは、高層化する新庁舎において、書類・書籍などの現物搬送を省力化、機械化しようとするものです。トレイ式、ワゴン式などの諸方式があり、それぞれのメリット、デメリットについて、比較調査を慎重に行っており、より効率的な事務処理システムの一環として寄与できるよう、今後多角的な調査を進めていきます。



新庁舎計画の平面図

次に、基本計画では、行政棟の一七階・一八階が「行政情報センター」（二二五〇㎡）として位置づけられています。現在、府庁本館地下書庫（六五〇㎡）に各課から引継ぎを受けた公文書が約一―万冊あり、これの収蔵をどうするのかという問題を含めて、この行政情報センターの具体的な用途・運営方法について、今後、多面的な検討を進める必要があります。文書管理の面からも、ストック情報の複合活用を図る面からも、行政に役立つ



つ検索システムを整備することはもちろんのこと、公文書が文化遺産として保存されていくのに有効な管理体制、環境条件の実現に努めたいと思います。

共通資料センターは、行政を行ううえで必要な資料が総合的に収集できるシステムを備えた施設とする構想です。府民との窓口であるエコーセンターや統計情報センター、更に職員図書室なども連携した資料収集を行い、これらを有効的に活用できるようなレコード

センターとしての諸機能を装備する必要があると思っています。

3 公文書館について

昭和六十年十一月に大阪府公文書館が開館しました。

貴重な行政資料を後世に伝えるために、公文書館には、大阪府がこれまで保存してきた貴重な公文書や資料類はもちろん、毎年、保存期間が経過した公文書の中から、将来貴重な歴史資料となると考えられるものを選別し、引継ぎを行っています。

現在の保存資料は、公文書、行政刊行物、図書及び寄贈・寄託を受けた資料など約六万七〇〇〇点あります。

前述の基本計画では、北地区において、文化施設として公文書館の建設が構想されています

が、同地区の整備が後期スケジュールに予定されていることもあり、まだ、構想の段階にあります。

今後、利用者の利便性、周囲の環境、収集保存等の事業の円滑化、施設スペースの確保、本庁・既存施設との連携、情報資料の集積等を考慮しつつ、そのあり方について、各方面の意見を集約していく必要があると考えています。

さらに、議会、行政委員会等を含めた収集システムの確立、中核をなす永年保存文書の引継ぎ移管、マイクロフィルムの整備、図書館等との機能分担など解決していかねばならない課題がたくさんあります。

ところで、公文書はその内容によって保存期間が定められており、その保存期限の到来した公文書は、歴史的価値を有するものと、廃棄するものへと選別され、歴史的価値を有すると判断されたものは、公文書館へ移管され永久保存されます。このとき、公文書の現姿・形態をできる限り損なわずに、整理・登録されることが重要です。

公文書館に引き継がれた文書は、その発生から三〇年を経過した時から、原則として公開に供され、文化遺産・府民の財産として後世へ引継がれます。これらの作業は、現在そのほとんどが手作業で行われていますが、将来は、コンピュータを利用するなどにより、

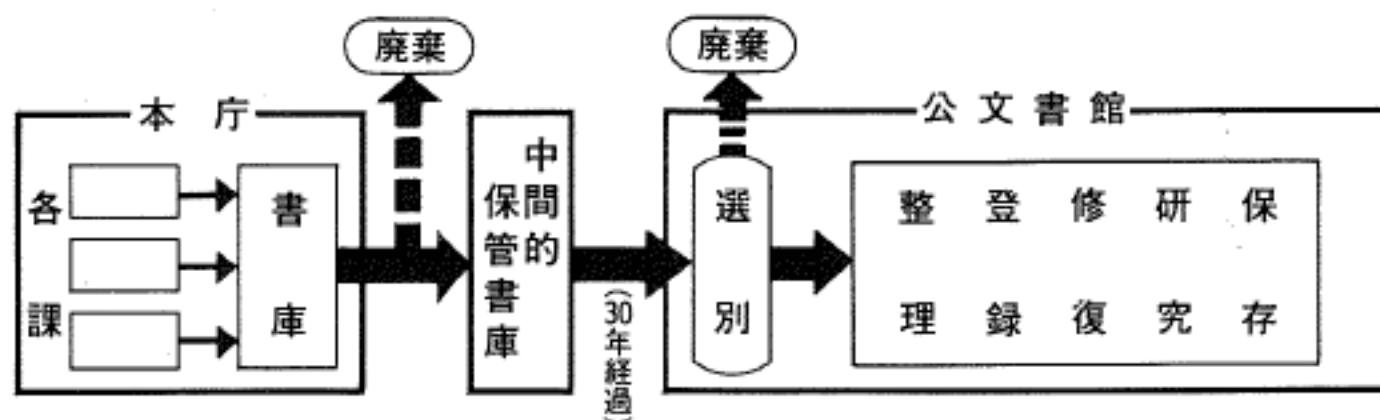
滞りがちな整理作業を改善していく工夫が重ねられる必要があります。

さて、選別対象となった公文書について、実際に逐一その価値性を判断することは容易ではありません。残しておくべきものを廃棄してしまうおそれもあり得るからです。そこで、最近では我が国においても、本当に価値のあるものを確実に残す視点から、文書を中間的に保管する書庫の必要性が認識されてきました。これは、文書を一定期間保管したうえで再度選別を行うというもので、いわば「文書の熟成期間」を設ける考え方です。歴史的文書の公開は、一般的に、その発生から三〇年を経過した時点からとされているので、例えば、この期間を中間的な書庫での保管期間として設け、三〇年間保管された後に再度選別され、本当に必要なものだけを残していく仕組みです。

このような文書管理ができれば、より確実な歴史的資料の保存ができるので中間的保管書庫については、研究する価値のある課題であると思っています。

いろいろと断片的なことを述べましたが、文書の管理は、大変にエネルギーの持続を要する仕事であります。公文書館が立派に育ちますよう、皆様の御協力・御助言をお願い致します。

(とりい たつお 法制文書課長)



中間保管書庫を組みこんだ公文書の流れ

記録のライフサイクルとレコードマネジメント

記録は、発生してからその本来の目的を果たしたあと保管され、一部は廃棄されますが、歴史的資料として価値のあるものは永久的に保存されます。この流れを記録のライフサイクルと呼び、このライフサイクルを総合的に管理することを、レコードマネジメント（記録管理）といいます。このような、記録の作成から整理・保存・廃棄などに関して、書式の統一やコンピューターによるデータ処理などの合理化をはかり、かつ適切な記録の保存を考えることが必要となっています。

大阪府公文書館では、このライフサイクルの中で、文書の選別から保存までを直接管理しています。しかし、永久保存する記録の管理がいかにか効率に行えるかは、その記録そのものがどのように作成され管理されてきたかが大きく影響してきます。そういう意味でも、今後、中間保管庫の存在を含めて総合的なレコードマネジメントの意義を考えていくことが必要です。

この図は、住吉名勝図会（寛政七・一七九五刊）の中にある万代池です。今から二百年昔のようすですが、その面影は今も十分にとどめています。図の説明はつぎのように読めます。

萬代池

住吉社乃東北、安部野街道にあり、或曰長居の池、則是なりといへり 廣さ凡

六百畝

六百畝とふりかながあります。日本では畝と読むのが普通ですので、そう解釈しますと約六万㎡になります。今、池と周辺の公園を含めて六万二〇〇〇㎡、広さも余り変わってませんし、池の中ほどの島もあります。傘をさしたり荷物をもって人が行き交うこの道は、阿倍野街道、あるいは熊野街道ともいわれ、紀州熊野神社に通じています。

住吉名勝図会にみる万代池



図は正面が東で、左奥の山が生駒・信貴山、右ページ中央が二上山、南へ葛城山が続きます。中景に家並みが見えるのは、田辺の村あたりでしょうか。今家々は、ぎっしりと建て混み、山々はほとんど見えなくなりました。

その昔、住吉村の溜池として、田畑を潤していた水は、市街化とともに必要がなくなりましたが、村人の手で守られ、他の溜池がつつぎ埋め立てられたのをよそに昭和十五年、住吉村常磐会により大阪市へ管理をまかされて公園となったものです。平成一年に、池の周辺が整備され、熊野街道の碑が建てられています。

左ページの、人が立つあたりに今、大阪府公文書館があります。春には、年月を経た周辺の桜がいつせいに開花し、人々の憩いの場となります。

（大西 愛 大阪府公文書館）

あーかいぶず アーカイブズ

アーカイブズは、archives と書く英語です。まだ耳慣れないこの言葉は、文書館、史料館、公文書館などと訳されていますが、いずれの訳も完全ではありません。また、これらの施設（建物）だけを、指すのではなくこの中に保存されている文書、公文書、史料、記録のこともアーカイブズと呼んでいます。紙に書かれたものばかりでなく、写真やフィルムやテープのような記録史料もアーカイブズです。外国には、フィルムアーカイブズやサウンドアーカイブズもあります。アーカイブズの語源は、ラテン語のアルキウム archivum やギリシャ語のアルケイオン arkhion とされています。フランス語はアルシブ archives ドイツ語はアルヒーフ Archiv といい、現在では、ほぼ世界中で同じ様な概念で使用されています。

日本ではアーカイブズという考えかたが、つい最近はじまったので、まだなじみがないのですが、一九八七年に公文書館法が制定されたのをきっかけとして、国をはじめ地方自治体も文書・記録をアーカイブズとして保存し、文書館、公文書館、資料館の建設をすすめています。

昭和初期大阪における貿易振興展覧会

——昭和六年巴^{バルカン}土^{トルコ}波^{ペルシャ}一周展覧会案内——

金山 正子

大阪府立貿易館の前身である大阪府立商品陳列所が創立されたのは、第一回帝國議會が召集された明治二十三年（一八九〇）のことである。当時、日本では、居留外国商人の活動範囲がほとんど居留地内に限定されており、居留地内で、外国商人と日本の売込商とが引取商と呼ばれる仲次業者との間で取り引きが行われた。大阪でも、川口居留地（現大阪市西区）においてこの「居留地貿易」が行われていたが、外国優位な価格条件や、品質検査の際の商品の一部抜き取りなど、取引慣習上のさまざまな弊害をともなした。これを痛感した大阪府知事西村捨三は、ベルギーのブラッセル商品陳列所などを参考として、日本の貿易を助長する機関を設立することを提案し、わが国最初の洋式陳列所である大阪府立商品陳列所が設立された。

この商品陳列所は大阪のみならず全国的な商工業の助長機関として注目されたが、明治四十二年の大阪北の大火で類焼した。その後大正六年に至り、原爆ドームの設計者でもあるチェコの建築家ヤン・レツチュエル設計により再建され、昭和五年大阪府立貿易館と改称

する。以後、奉天・上海・ニューヨークなどの海外分館が相次いで新設されていった。

この頃、昭和三年から十三年の一〇年間に、8頁に示したように一一回に及ぶ大阪府主催（あるいは他機関との共催）による貿易振興展覧会が開催されており、そのとき発行された報告書や各国の事情概説書が当館に保存されている。

ちょうどこのころは、世界恐慌から太平洋戦争へといたる時期である。世界の中で孤立しつつある日本が、海外へ新たな市場を求めようとするその貿易政策が、これらの展覧会にも反映されている。各報告書には、その展覧会の開催趣旨をはじめとして、日本および大阪の対外貿易の概説や対象国の産業・通商・国情などが細かく解説されており、当時の大阪の対外関係を知るうえでも大変参考となるものである。

その中から、今回は、昭和六年（一九三二）十月十六日から十一月十五日の一月間、大阪府立貿易館と国際連盟協会の共同主催により、貿易館において開催された「巴土波一周展覧会」の概要を紹介してみたい。

中近東一二地方の紹介

これより先に貿易館では、昭和三年「世界国情展覧会」で世界六〇余国に及ぶ国情一般を紹介し、昭和五年「アフリカ国情展覧会」ではさらに進んで一國一地方の実情を詳細に紹介して有望な新市場としてのアフリカを取り上げている。それにつづく第二弾として開催されたのがこの「巴土波一周展覧会」であった。

「巴土波」とはバル幹（バルカン）・土耳其（トルコ）・波斯（ペルシャ）の略で、この展覧会で対象とされたのは、ルーマニヤ王国・ブルガリヤ王国・ユーゴスラビヤ王国・アルバニヤ王国・ギリシャ共和国・トルコ共和国・シリア・パレスチナ・イラク王国・ケラク王国・ペルシャ王国・アラビヤ諸地方の一二地方である（国名の表記は資料に拠る）。

バルカン諸国は文化・慣習ともに独特であるが、先進欧州諸国に追隨して産業の進展に力を注いでいた。また、トルコは近東における物資集散の中心をなし、ペルシャ王国及びアラビヤ地方は鉱産物の豊富なことで注目を集めていた。そしていずれの地方も農牧を中心とし、日用雑貨は大部分を外国よりの輸入に仰いでいた。そういう各地方の状況のもとに、アフリカにつぐ有力市場としてその開拓が意図されたのである。



「通信見本市」(巴土波展特集号、昭和6年)
表紙「近東諸国略図とギリシヤ美人」

の第四室には、日本から輸出されている商品が各製造業者や取扱業者より出品された。ほかにも場内には三十数個のぞきめがねや絵画・写真などが展示され、館内を一巡すれば近東諸国を一周旅行したように、各国の事情に精通出来るように仕組まれていた。さて、当時の日本と近東諸国との貿易状況をみてみると、下表のように貿易額の九割以上を日本から近東への輸

出が占めている。日本からの輸出品は綿製品・絹製品・各種雑貨などで、とりわけ綿布類の伸びがめざましく、繊維関係の中心である大阪より近東諸国への輸出货量も順調な伸びを示していた。反対に各国より日本への輸入は、煙草・毛皮などの原産物が主で、近東諸国は日本にとってはまだまだ馴染みの少ない地方であったことが窺われる。この展覧会にあたって貿易館より発行された「巴土波一周展案内」特集の「通信見本市」を見てみると、展覧会概要の解説について「一國一題 近東諸国のぞき」と題して、各国が一つのテーマにしばって紹介されている。いくつか挙げてみると、ギリシヤ神の誕生/ルーマニヤ乙女の誇り/アルバニアのスカート/ブルガリヤの水汲み、などなど、宗教・人種・風俗などの各国特色をとときにはユーモラスに紹介しているのがおもしろい。当時にしてみれば、このような展覧会は買

この展覧会に先駆けて、大阪府では「巴土波地方商工視察員」として、大阪の有力貿易商ならびに製造家三名を現地派遣している。彼らには、貿易の実情調査と日本商品の販路拡張に当たらせ、また各種資料の収集にも努めた。その成果の一端として、展覧会では、それぞれの国の貿易の状況や物産などの展示がなされており、貿易通商上の参考となるものであったと思う。

四つの展示室

さてここで展覧会会場の案内を簡単にしておく。まず入口正面には、バルカン地方の風景にトルコ人の等身大の模型と、バグダッド近郊の村落や回教寺院を背景としたアラビヤ人の模型があり、巴土波地方の風俗の一端に

観覧者がまず触れられるという趣向が凝らしてある。つづく正面階段には、日本と巴土波地方との地理的關係を示した貿易大勢図が展示され、各展示室へとつづく。

展示室は四つの部屋に分かれ、第一室では巴土波地方の地理、交通、通信、運輸、人種、宗教、教育、国際関係資料が展示され、ここには在阪生徒の作品と交換に寄贈された各国児童の作品も展示された。また、高松宮ならびに東久邇宮ルーマニヤ巡遊の節の収集資料の一部も展示された。第二室では各国の政治、経済、風俗、物産が紹介され、第三室には巴土波各国市場で需要のある商品の見本が、各国の商店のそれぞれ個性ある店頭装飾をそのまま再現して陳列された。そして最後

日本と近東諸国の貿易状態
(単位：千円)

国名	日本への輸入	日本からの輸出	
トルコ	55	3750	*
ギリシヤ	80	277	**
アルバニア	0	3	**
ユーゴスラビア	21	45	*
ペルシヤ	819	1138	**
パレスチナ	0	45	***
シリヤ	2	1491	***
アラビア	77	6137	*

(*S5年度、**S4年度、***S3年度)

易業者だけでなく一般人にとっても、海外の未知の情報を得る数少ない機会のひとつだったのではないだろうか。

大阪南方院の設立

さて、最後にそののちの貿易館に触れておく。太平洋戦争の勃発により、対南方施策の企画推進機関として、大阪府・大阪市・大阪商工会議所の共同経営として大阪南方院が設立される。大阪府貿易館の業務も、昭和十八年三月をもって南方院へ移管された。しかし、この間の詳細については、『大阪府会史』『昭和大阪市史』『大阪府貿易館の歩み』などの刊行物の記載に多少の違いもみられ、これに関する公文書などの史料が残されていないのが残念である。その後、終戦に至って南方院は解散され、昭和二十一年一月大阪府立貿易館が復活する。以後昭和六十二年十月に廃止されるまで、民間貿易の発展と貿易業界の拡張に貢献してきた。廃止後、貿易館の事務は国際交流課の事務の一部と統合され、ソフト産業振興課として発足し、まさに時代の流れを反映した機構改革の中に九七年間の歴史の幕を閉じた。

(かなやま まさこ)

大阪府公文書館)

昭和初期大阪府立貿易館における貿易振興展覧会一覧

展覧会名称	開催期間	趣旨および目的	備考
世界国情展覧会	昭和 3.11.11～11.25 (15日間)	大典奉祝、休戦十周年記念 世界60余国の国情紹介による国際交流増進と貿易振興	大阪府立商品陳列所・国際連盟協会大阪支部共催
国産品・輸入品 対照展覧会	昭和 5. 1.11～ 1.20 (10日間)	国産品と輸入品とを比較対照し、一般大衆に国産品の愛用を奨励する	会場は榊三越 昭和5.1.11は金解禁実施の初日
アフリカ国情展覧会	昭和 5.11. 1～11.15 (15日間)	世界国情展覧会より更に進んで一地方の実情を精細に紹介。対外貿易の新市場開拓	大阪府立貿易館・国際連盟協会共催
バルカン 半島一周展覧会	昭和 6.10.16～11.15 (31日間)	日用雑貨の大部分を外国よりの輸入に仰ぐバルカン地方への輸出新市場開拓	大阪府立貿易館・国際連盟協会共催 昭和6.12.13金輸出禁止
貿易振興展覧会	昭和 7. 4.15～ 5. 5 (21日間)	明治以来の本邦貿易の推移と世界各国の現状を検討。貿易商品及び通商上の改善を図る	昭和7.3.1満州国建国宣言
大アジア展覧会	昭和 8.10.10～10.30 (21日間)	アジア各国・委任統治地南洋群島における貿易及び国情紹介。大アジア市場の把握	昭和8.3.27国際連盟離脱。この年綿布輸出量世界第一位。ソシアル＝ダンピング問題起る
中南米展覧会	昭和10. 3.15～ 4. 4 (21日間)	中南米諸国・西印度諸島における貿易及び国情紹介。日本商品受入れの新市場開拓	昭和10年綿布輸出量史上最高。貿易収支17年ぶりに黒字
北米展覧会	昭和11. 3.15～ 4. 4 (21日間)	対外貿易上最も重要な旧市場であり、入超国である対米・対加(カナダ)貿易の再検討	
北欧展覧会	昭和11.10. 1～10.21 (21日間)	我国産業の原料輸入国であり多額の入超国である北欧諸国への今後の販路拡張	
英国及南欧展覧会	昭和12.10. 1～10.21 (21日間)	世界経済の中心である南欧諸国の貿易情勢の紹介、および貿易・経済機構の検討	昭和12.7.7日中戦争始まる。7.11北支(支那)事変勃発
国民精神総動員 非常時展覧会	昭和13. 3.23～ 3.29 (7日間)	我国産業貿易の推移と現況を示し、時局下における対外貿易の趨勢を認識し躍進に資す	大阪府・市・商工会議所共催。会場は大阪府立中央公会堂

*特に備考欄に注記がなければ、会場・主催とも大阪府立貿易館(昭和3年は大阪府立商品陳列所)

史料管理学研修会（通算第三五回）

研修会の報告

第二回公文書館等職員研修会報告

平成元・11・6～11・17

平成元・11・27～12・1

例年行われている国立史料館主催の短期研修会が今年度は福岡市にて開催された。九州での開催ということもあって福岡・佐賀県からの受講者が多く、参加者は二五名。講義は勿論のことながら、情報交換という意味においても大変盛り上がりのある研修会であった。九州地方でも公文書館や資料館設立の動きが活発になってきている様で、これを機会に全国的な繋がりがさらに深まればと思う。

なお、研修内容と講師は左記のとおりである。（敬称略）

▲講義▶史料管理学序論 史料館教授 安澤秀一／史料の保存科学



修復・補修の実習

- 東京芸術大学美術学部助手 稲葉政満／史料保存環境論 山口県文書館専門研究員 北川 健／史料の修復・補修 宇佐美国宝修理所長 宇佐美直八／九州大学石炭研究資料センターにおける史料管理 九州大学石炭研究資料センター助教 東定宣昌／近現代史料の整理と検索手段の作成 栃木県立文書館副主幹 仲田凱男／近世史料論Ⅰ（幕藩史料） 国際日本文化研究センター助教 笠谷和比古／近世史料論Ⅱ（町方・村方史料） 史料館助手 渡邊尚志／近現代史料論 京都府立総合資料館歴史資料課長 中谷 彌／史料所在調査法 史料館助教授 大藤 修／近世史料の整理と検索手段の作成 史料館助手 安藤正人／史料の装備と配架 史料館教授 原島陽一／史料の利用と情報サービス 史料館助手 山田哲好

（金山 正子）

平成元年十一月二十七日から十二月一日まで国立公文書館主催により、同館において研修会が開催された。この研修は、公文書館法が施行された昭和六十三年から開始され、本年度二回目のまだ新しいものである。

内容と講師はつぎのとおりである。（敬称略）

- ▲講義▶公文書館法と公文書館の役割 国立公文書館公文書課長 小林一夫／文書管理 総務庁行政管理局管理官 松村雅生／アーカイブズについて 元国立公文書館公文書課長 小林蒼海／資料の劣化と保存 東京農工大学教授 大江礼三郎／行政資料の収集と利用 国立国会図書館官庁資料課長 相馬民子／著作権の問題 文化庁文化庁著作権課長 工藤智規／国際公文書館会議 国立公文書館公文書課 小川千代子／修復の実務 国立公文書館内閣文庫 増田博／古書・古文書の取扱い 国立

- 公文書館内閣文庫 長澤孝三／歴史研究と公文書館 大阪大学法学部教授 山中永之佑／外交文書の編纂 外務省外交史料館長 田村康三／公文書の取扱い 国立公文書館主任公文書専門官 柳本昌門／情報公開と個人情報保護 山梨学院大学法学部講師 藤田憲一／地方公文書館の業務 川崎市公文書館長 深瀬和俊

▲講演▶歴史資料との出会い 作家 吉村 昭

また、東京都公文書館および国立公文書館の見学があり、受講者との討論も三度にわたっておこなわれた。

参加者四三名は、国の各省機関や各地方自治体の機関で実際に文書館的業務に携わる人ばかりであり、まだ新しい史料取扱いの仕事に苦勞しており、それぞれの館に役立つ内容を求めて熱心に受講し、質問・討論していた。

（大西 愛）

「文書館あれこれ(2)」

広島市公文書館

広島市中区大手町四一―七七

広島といえは原爆の影響とまず私たちは考える。広島市の公文書にしても同様であり、戦前の市役所の文書は、戸籍・土地台帳といった基本的なものは疎開してあり無事だったが、それ以外はことごとく焼失した。それにもかかわらず日本においては、しかも市立としては早い時期に公文書館が設立されていることが注目される。

昭和四十六年以降に広島市へ合併した多くの町で、近世・近代の公文書を保存していたので、その散逸防止と町史・市史の編纂過程で収集した資料類の体系的な保存・活用を図



広島市公文書館のロビー展示

るため、その専門施設として昭和五十二年にスタートした。その後、膨大な行政公文書の中から歴史文書を選び保存する文書館の新しい仕事加わった。さらに、一部の永年保存文書等を保管する、市の文書庫の役割も担っており、昭和六十一年からは公文書の情報公開まで担当している。このように幅広い機能を果たしている公文書館は、まさに市の情報の心臓部といえる。行政情報係と歴史資料係にわかれて二〇名たらずの職員がこの大量の作業をこなす。書庫に並んだ文書ロッカーの無数の列は利用されるのをまって静まり返っていた。

広島市公文書館は城下町時代のメインストリート（現在国道五四号線）に面し、市役所はこの道をへだてて正面に位置している。延べ約一千㎡（共用部分を除く）、所蔵資料総点数六万七〇〇〇余冊、閲覧件数年間一八〇〇余件である。歴史文書の閲覧や情報公開の請求が中心的利用であるが、バス停前であるため、ちょっと立ち寄ってロビー展示や行政情報を見ていく人、市の出版物を購入する人も多い。ここには市民のなかの公文書館というイメージがある。

（大西 愛）

「文書館あれこれ」では全国の文書館や公文書館などの紹介を、できれば当館との違いに着目して続けていく予定です。

Ⅱ府下講座案内(2)Ⅱ

堺市博物館

古文書講習会

堺市博物館では、昭和五十七年度より毎年夏期に古文書講習会を実施しており、平成二年度で第九回を迎えます。もともと博物館の意向と地元愛好家の方々との要望が一致して始められたこの講習会は、例年初心者から熟練者まで幅広い層の受講者が集まっています。また講座も古代から近世までを対象とし、総合的に古文書の勉強が出来るという内容になっています。

平成元年度の講師は左記の通りでした。
堺市博物館館長 井上 薫（古代）
関西学院大学教授 加地宏江（中世）
大阪府立大学助教授 上田さち子（中世）
大阪明浄女子短期大学助教授 布引敏雄（近世）

追手門学院大学講師 小堀一正（近世）
平成二年度の日程および講師は未定です。
平成二年六月から七月頃に受講者を募集の予定です。詳細は直接堺市博物館までお問い合わせ下さい。

日程／詳細は未定（日曜日計一〇回程度）
連絡先／堺市博物館（担当倉橋）

堺市百舌鳥夕雲町二丁大仙公園内

☎〇七三二（四五）六二〇一

公文書館譜

□行事できごと (S 63・11 \ H 2・1)
(年月日)

63・11・1	常設展示「熊野街道と住吉大社」 第三十四回史料管理学研修会開 催(主催:国立史料館)
11・7	労働部労政課から労政事務所等 の資料搬入
12・13	泉南府民センターから資料搬入
1・1・27	収蔵資料のくん蒸
2・1・1	館内消毒
3・25	大阪あーかいぶず特集号No.1発 行
3・31	大阪あーかいぶず第四号発行
4・6	土木部用地室から資料搬入
5・10	法制文書課、地方労働委員会か ら資料搬入
7・28	関西大学博物館学課程実習
8・17	第四回公文書館運営懇談会を開 催

□主な来館者 (S 63・11 \ H 2・1)

11・11	大阪あーかいぶず第五号発行
63・11月	府立学校事務研究会 住吉区役 所 府議会議員団 和歌山大学 大阪二十世紀協会
12月	小・中・高等学校等初任者研修 教員 枚方市 田尻町 大阪市 大阪府立大学
1・1月	大阪市公文書館
2月	九州産業大学 千葉県文書館 大阪市南消防署
3月	大東市教育委員会 大阪女子大 学 住吉村常磐会 埼玉県立文 書館
4月	桃山学院大学司書コース受講学 生
5月	寝屋川市教育委員会
6月	住吉区役所 愛知女子短期大学 高槻市文書課 京王帝都電鉄 大阪市史編纂所 京都府立総合 資料館
7月	京都市文書課 明浄学院
8月	大宮市 横浜市 羽曳野市史編 纂室 府立大学情報提供専門部 会 花園大学
9月	国立史料館 東方出版 大阪都 市協会 金蘭短期大学
10月	国立公文書館 大阪大学 大阪

第四回運営懇談会では、次のことがらにつ
いてご意見をいただきました。
・当館の将来構想
・資料の収集、移管、保存方法
・専門職員の確保、養成

11月 教育大学 大阪府立小学校教員
兵庫県文書課
12月 大東市歴史民俗資料館 栃木県
立文書館 大阪税関 熊本県私
学文書課

2・1月 愛知学泉大学 羽曳野市立陵南
の森図書館 羽曳野市立古市図
書館

□館の利用者 (S 63・11・11 \ H 2・1・31)

公務員 三三% 学生二九% 会社員・自営
業 二一% 教員 七% その他 一一%

□主な資料の寄贈者

(S 63・11 \ H 2・1 敬称略)

○参考図書資料寄贈者

1・8月	関西大学 図書館シリーズ第 17輯 ほか
9月	福島 雅蔵 「幕藩制の地域支 配と在地構造」
12月	丸山 秀雄 「公文書館への 道」ほか

公文書館では、府に関係する歴史的公
文書や古文書、郷土資料類も保存します。
寄贈・寄託いただける方はご連絡くだ
さい。

この仕事 こんな作業



行政刊行物の確認作業

現在、当館でもっとも利用頻度の高い「大阪府が発行した行政刊行物」の冊子目録化を進めています。さて、この「行政刊行物」、様々な点で一般の図書や書籍と異なっていて、一筋なわでゆかないことが多々あります。市場に回らないこと、作成部数や配付対象が限定されることが多い、行政上の時事的な情報の伝達・記録手段であることなどです。また、一般書籍ではごく当然の著者名（所属組織名）や発行年月など資料を特定するための重要なファクターが表示されていないことも多く、目録化作業には資料からの転記のほか、それらの特定調査が必要になります。なぜそこまでしなければならぬか。それは個々別々の資料から、そのつながりを見いださせることであり、同時に大阪府の行政の歩みを忠実に再現することになるからなのです。

資料の保存状況
(H.2.1.31現在)

区 分	資料点数
大阪府が作成した公文書	53
明治期	51
大正期	11,912
昭和期	14,317
大阪府の行政刊行物	22,489
その他の刊行物	1,903
官報（国会会議録等を含む）	272
大阪府公報（明治22年以降）	7,754
行政資料・参考資料	6,287
マイクロフィルム・写真類ほか	1,800
近世文書（川中家文書ほか）	66,937
合 計	

▼原稿募集 本年秋季にA5版の小冊子「大阪あーかいぶず特集号No.2」を発行の予定です。広く府民の方からも原稿を募りますので、詳細については当館にお問い合わせください。

▼展示 六ページに掲載した「昭和六年巴士波一周展覧会」の資料の一部を展示していますのでごらんください。

編集後記

▼「大阪あーかいぶず」は今年度から年二回発行の運びとなりました。開館五年目を迎え、今後は独自の個性作りを目指したいものです。▼今回は、大阪府で文書がどのようなように管理されているか、またこれからの様な体制にもっていくことが必要なのか、を取り上げてみました。より多くの方々に、公文書について関心を持っていただければ幸いです。(K)

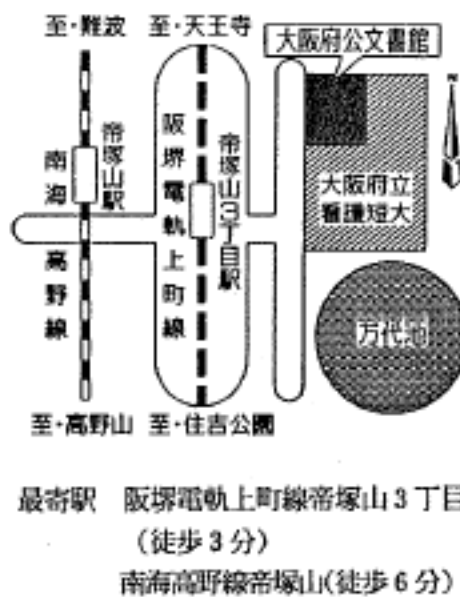
利用案内

■閲覧時間

・月曜日～金曜日 午前9時30分～午後5時
・土曜日 午前9時30分～午後0時30分

■休館日

・日曜日、祝日及びその振替休日
・年末年始（12月28日～1月4日）
・毎月末日（その日が日曜日の場合はその前日）



大阪あーかいぶず 第六号

平成二年三月三十一日発行
編集発行 大阪府公文書館
大阪市住吉区帝塚山東二丁目一四四
電話 〇六一六七五―五五五一
印刷 大阪府営印刷所